

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名		監視指導等(食品衛生)				所管	健康部 生活衛生課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	156	計画事業名	食品衛生監視指導等					事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり								
		[小 柱] (3)安全で健康な生活環境の確保								
		[施策] ①食の安全の向上								
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	食品衛生法、食品製造業等取締条例、東京都ふぐの取扱い規制条例、食品表示法					
	事業対象	区内の食品取扱施設 約15,000施設								
	事業目的	食品衛生法等に基づく営業許可、監視指導等を通して食品取扱施設の衛生状態を維持向上させ、飲食に起因する衛生上の危害発生を防止し、食品の安全を確保する。								
	事業内容	(1) 営業許可や届出に係る事務を行う。 (2) 食品取扱施設の設備及び食品の取扱状況の監視指導を実施する。 (3) 違反食品や食品に関する苦情の調査等を実施する。 (4) ふぐ取扱所認証書に係る都へ経由事務を行う。								
委託の有無	なし		委託内容							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度		
	活動指標	重点監視施設一斉監視数		回	25	-	-	24		
		自主管理認証説明会実施回数		回	1	-	-	1		
	成果指標	食中毒発生率(区/都)		%	4%以下	2.0	3.9	7.4		
		自主管理認証説明会参加者数		人	50	-	-	54		
	決算額 (単位:千円)					1,200	1,287	1,447		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				72,178	81,699	72,131		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				1,153	1,257	1,409		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				48	30	38		
		総経費				73,379	82,986	73,578		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				28,816	30,744	31,653			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				1,976	1,628	1,586			
	一般財源(区負担額)				42,587	50,614	40,339			
前回評価から改善した事項	牛肉、牛肝臓肉および豚肉については規格基準に適合するよう指導を徹底し、これらの食肉による有症苦情や食中毒は減少した。従事者の手洗不足によるノロウイルス食中毒も減少しつつある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	食品衛生法の規定により毎年監視指導計画を策定し、区の実情にあった監視指導を実施している。食中毒、輸入食品、食品表示など食品の安全・安心に対する区民の関心は高い。食品の安全を確保し、区民・来街者等の健康の保護を図る必要がある。							
	効率性	3	監視指導計画に基づき、食中毒が多発する夏期や食品の流通が増える歳末に一斉監視事業を実施している。また、統計的に食中毒の発生が多い業種に対し重点的に監視するなど効率的・効果的に実施している。							
	手段の適切性	3	食中毒発生件数の多いノロウイルス・カンピロバクター食中毒予防対策や、大規模調理施設・高齢者施設及び学校等に対する現場簡易検査を用いた科学的な監視指導により、衛生水準が確保されている。また、区に寄せられる様々な苦情や違反食品等の緊急監視についても迅速な対応が取れている。							
	目的達成度	4	自主管理認証説明会への参加者数も微増し、食品等事業者の自主管理推進に対する意識は高まりつつある。自主管理点検表を店舗の衛生管理に活用しようとする事業者数が増加傾向にある。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	維持		
食中毒や廃棄食品の不正流通など、食品の安全性に対する区民の不安は高まっている。今後も監視指導計画に基づき重点的監視指導を業態の特徴に応じて効果的に実施するとともに、食品等事業者の自主衛生管理推進や食品衛生推進員の協力を得て効率的な監視指導を実施する。							拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			